

学校教育目標	「夢中がいっぱい左近山の子」～つながる学び(知)・つながる仲間(徳/体)・つながる地域・未来(公/開) ○自ら問題を見付け、見直しをもってよりよく解決する力を育てます。(知) ○自分を律する態度と人を思いやる優しさを持ち、自他を大切にする態度を育てます。(徳) ○規則正しい生活を心がけ、心身ともにたくましく生きる力を育てます。(体) ○よりよい社会を創るために、地域とともに、自ら考え実践する力を育てます。(公) ○多様性を尊重し、未来を見据えて、共に生きていく力を育てます。(開)			
	創立 12 周年	学校長 徳留 勇	副校長 田宮 真樹	2 学期制 一般学級: 15 個別支援学級: 7
学校概要	児童生徒数: 510 人 主な関係校: 左近山中学校・本宿中学校 (左近山特別支援学校)			

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	左近山中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<問題発見・解決能力> <共に支え合う力> <社会や未来とつながる力>	左近山中学校 左近山小学校 (左近山特別支援 学校)	自分で発見 みんなで解決 協力できる左近の子 ・本ブロックで育成を目指す三つの資質・能力をブロック授業研のテーマとして設定し、各教科等において、テーマを意識した授業を展開する。ブロックで年2回実施する。[9月19日・11月21日] ・児童生徒の交流日[10月24日]に、6年生が中学校の授業を参観し、部活動を体験する。

中期取組目標	○伝え合いを大切にしながら、主体的に学習できる授業づくりを推進し、総合的に学力を向上させます。[1年目]様々な教育活動に興味関心をもち、めあてをもって取り組めるようにします。[2年目]めあてにそって自分の考えをもち、振り返ることで学びの自覚化を図ります。[3年目]伝え合うことで自分の考えと友達との考えを比較し、考えを深められるようにします。 ○一人ひとりが自己有用感を持ち、学校生活を楽しく送れるようにします。3年間を通して、自分も相手も大切にできるようにし、自己有用感を高められるようにします。 ○まちの「人」とつながり、豊かな体験を通して、まちとともに心を育て、ともに学び育つ土壌をつくります。[1年目]地域でふれ合う活動を通してまちとかがわれるようにします。[2年目]まちの「人」とつながり、体験を通して、充実感を味わえるようにします。[3年目]多様性を理解し、分かり合い、助け合い、ともに学べるようにします。
--------	---

重点取組分野		具体的取組
知	生きてはたらく知	①重点研を柱に、個別最適な学びの実現に向けて授業改善に努める。誰もが安心して授業に参加できるように、必要に応じた重点的な指導や指導方法の工夫を行い、指導の個別化を図るとともに、一人一人に応じた学習課題を提供することで学習の個性化を図れるようにする。
担当	研究・研修部	
徳	豊かな心	①年間通して行う「ふわふわ言葉」「いいところ見つけ」「なかよし活動」、外部機関の連携で行う人権教育の取組を通して、児童の心を養い、人権意識の向上を図る。②左近山特別支援学校との意図的、計画的な交流、芸術鑑賞会の実施等により、豊かな心の醸成に努める。
担当	心の教育部	
体	健やかな体	①児童が自ら、体を動かすようにするためのきっかけづくりとして、縄跳びカードや持久走カードを作成、配付したり、運動委員会主催による〇〇大会を開催したりする。②市の体育科基本調査や本校の体力テストの実態を分析して、児童の課題を教員が把握し、体育科学習等に役立てる。
担当	体育部	
公開	未来を創る思い	①「地域人材バンク」、「学習の足跡の記録」の活用を通して地域学習の促進を図る。年度当初、途中、最後に進捗状況を確認し確実に推進する。②キャリア教育と紐づけた年間指導計画を作成し、年度初めに学年で見合う機会を設定し、キャリア教育の実践をする仕組みづくりをする。
担当	生活科・総合部及び特別活動部	
いじめへの対応		①実際に対応してきた事案を全職員で共有し、どの学年でも初期対応、未然防止につなげられるようにする。②諸会議やいじめ防止委員会を通して、職員全員で、児童を見守り、事案の対応を検討していくという体制を継続し、いじめの早期発見、未然防止に努める。
担当	いじめ防止対策委員会	
人材育成・組織運営(働き方)		①必修の校内研修で基本的な資質・能力を高め、自主研修を促進することで自分のよさや可能性を広げる。②働き方改革の重要性を家庭、地域に周知しながら可能な限り協力を得て、ICT活用による業務改善やアウトソーシングの積極活用により、職員のさらなる裁量時間の確保に努める。
担当	研究・研修部及び主幹会	
特別支援教育		①課題を抱える児童についてアセスメントを行い、必要に応じて個別の教育支援計画・指導計画を作成し、適切な支援・指導をチームで行う。②研修等を通してユニバーサルデザインについての理解を深め、学校全体での指導と環境整備の両面に取り組む。
担当	児童指導	
児童指導		①児童の委員会活動を中心に、月目標の達成に取り組む。②子どもの社会的スキル横浜プログラム年間計画をもとに支援検討会を実施し、児童や集団の理解を深め、支援体制を整える。
担当	児童指導	
地域学校協働活動		①学校運営協議会で3校が協同して様々な活動の協議を通して、緊密に連携し、その効果を教育活動に還元する。②学校コーディネーターを通して、児童が学習活動に地域人材を有効活用できるように促し、地域学習の実践を積み重ねていく。
担当	主幹会	
担当		